

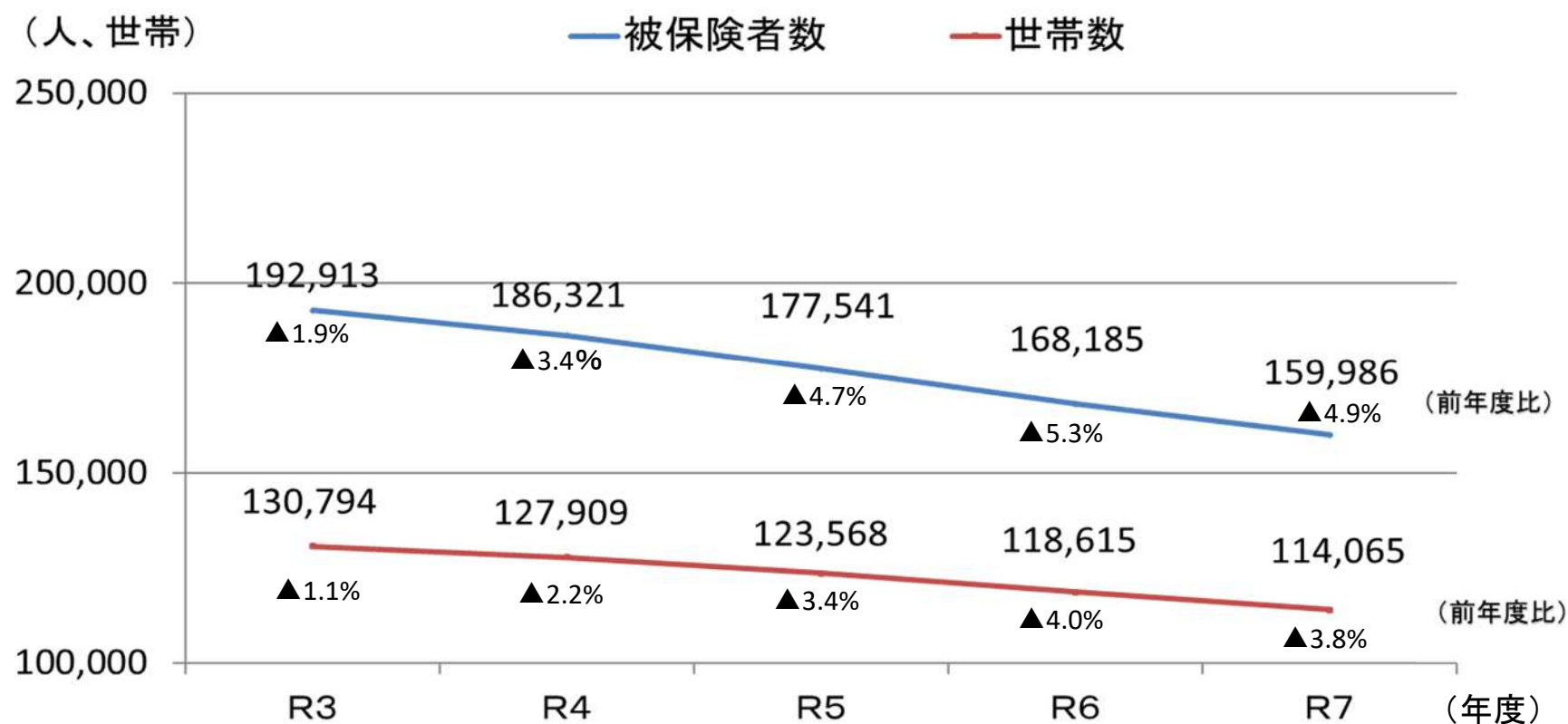
議題

北九州市国民健康保険事業の運営について
(令和7年度 国民健康保険特別会計決算見込み等)

目 次

・ 被保険者数・世帯数の推移	・ ・ ・	P1
・ 一人当たり医療費及び保険給付費の推移	・ ・ ・	P2
・ 一人当たり保険料の推移	・ ・ ・	P3
・ 令和7年度国民健康保険特別会計決算（案）	・ ・ ・	P4～5
・ 政令市の状況（高齢化率・病院数・病床数）	・ ・ ・	P6
・ 保険料収納率の推移	・ ・ ・	P7
・ 医療費適正化の取組み	・ ・ ・	P8～9

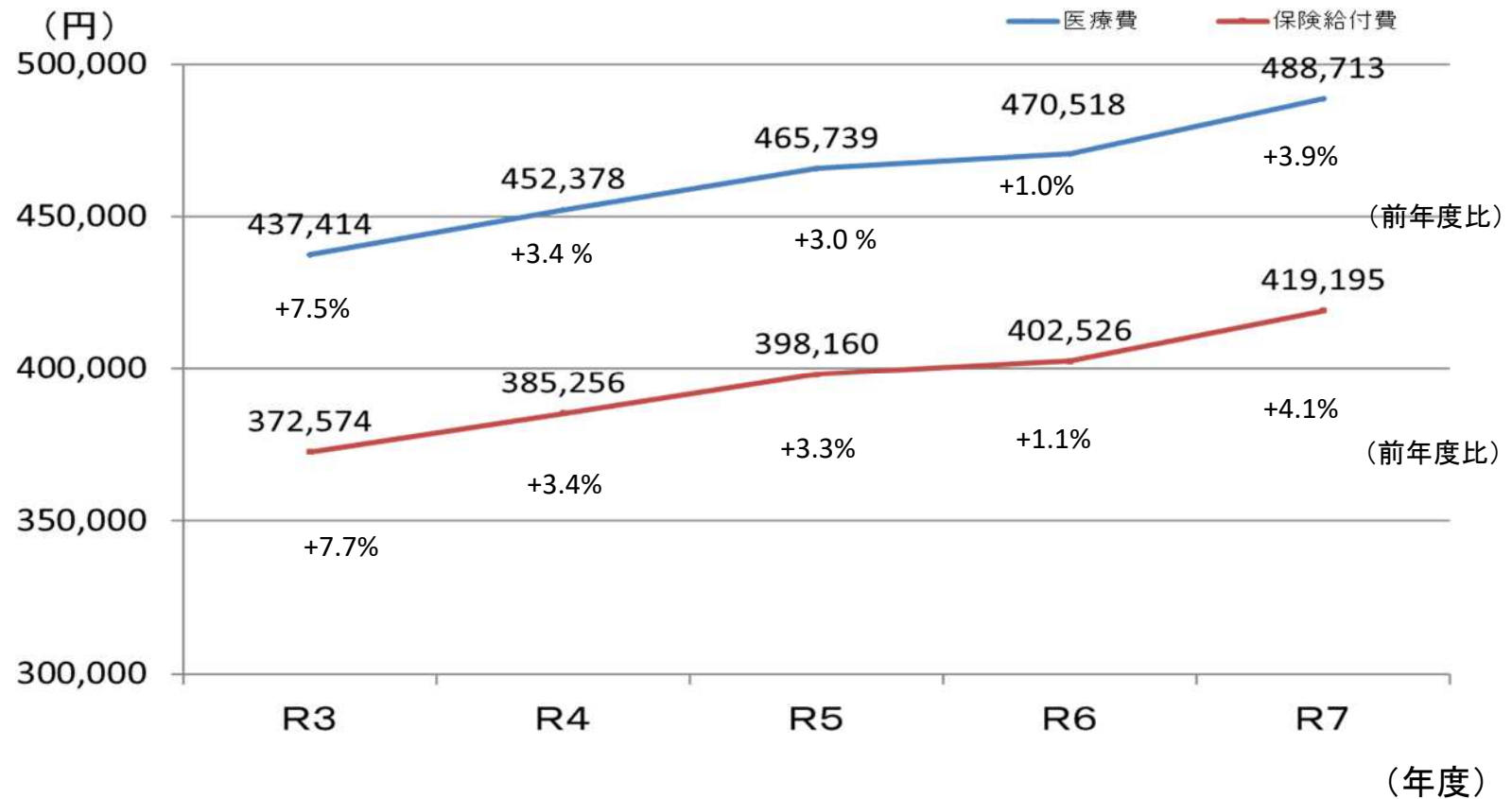
被保険者数・世帯数の推移



ポイント

団塊の世代が後期高齢者医療制度（75歳以上）への移行及び被用者保険の適用拡大等により、被保険者数・世帯数ともに減少。

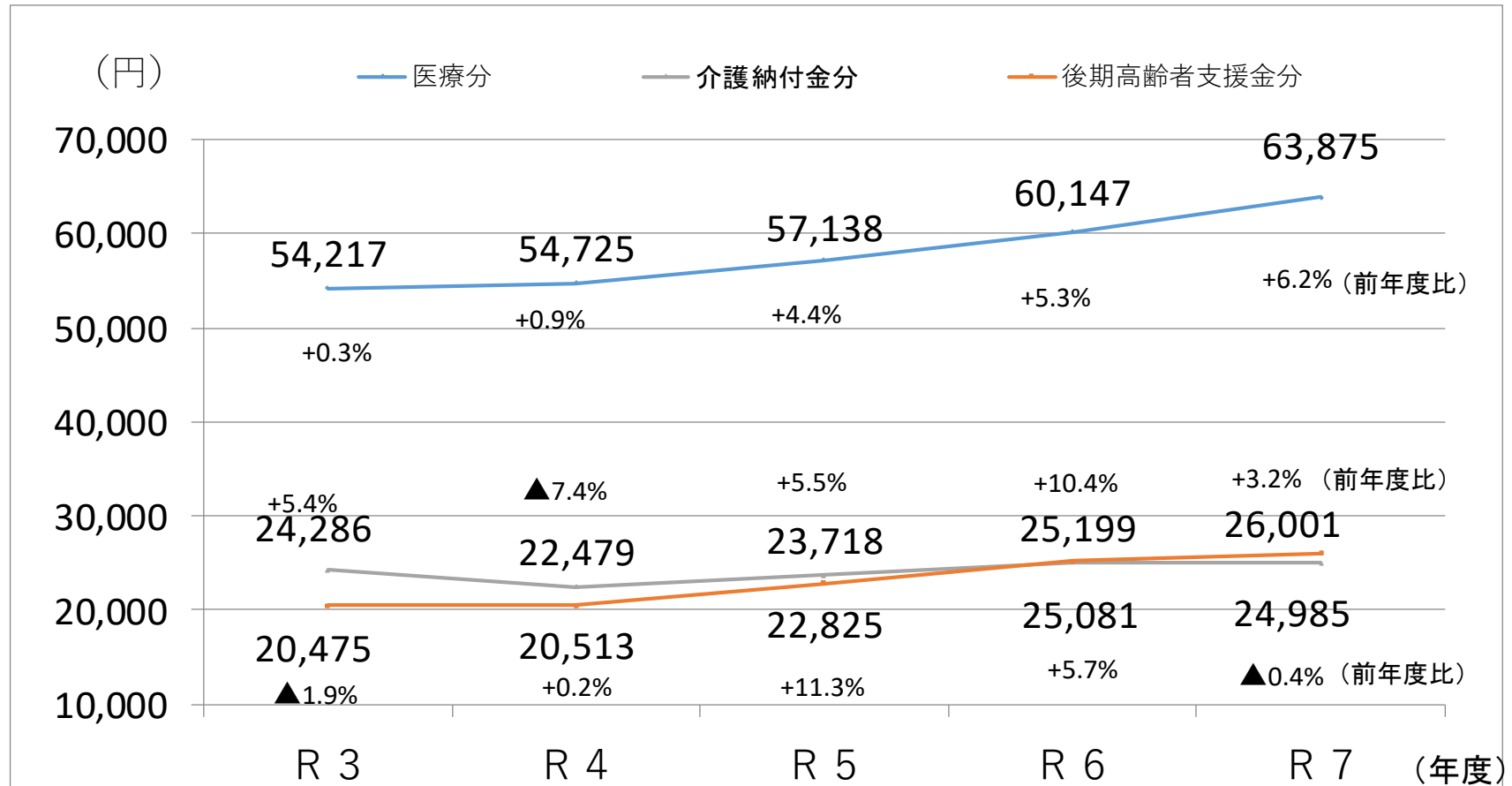
一人当たり医療費及び保険給付費の推移



ポイント

被保険者数一人当たりの受診回数は大きな変動はないものの、医療の高度化等
に起因する一人当たりの医療費の増加により保険給付費は増加している。

一人当たり保険料の推移



ポイント

令和7年度の一人当たりの保険料は、介護納付金分は減少したが、医療分は一人当たり医療費の増、後期高齢者支援金分は後期高齢者の人口と医療費総額の急増により、前年度と比べ増加した。

令和7年度 国民健康保険特別会計決算（案）（1）

歳入

（単位：百万円）

項目	令和7年度	令和6年度	増減	主な増減理由
保険料	14,746	14,873	▲127	被保険者数の減など
国庫支出金	138	109	29	国民健康保険システム標準化にかかる補助金の増など
県支出金	69,500	70,107	▲607	普通交付金の減など
一般会計繰入金	10,477	10,969	▲492	被保険者数の減少による減など
その他	2,155	1,174	981	繰越金の増など
合計	97,016	97,232	▲216	—

ポイント

被保険者数の減により、保険給付費が減少したことに伴う県支出金の減等により、総額で前年度比約2.2億円の減少。

令和7年度 国民健康保険特別会計決算（案）（2）

歳出

（単位：百万円）

項目	令和7年度	令和6年度	増減	主な増減理由
保険給付費	67,478	68,133	▲655	被保険者数の減によるもの
国保事業費納付金	23,799	24,479	▲680	被保険者数の減等によるもの
保健事業費	674	681	▲7	特定健診受診者数の減のため
その他	2,583	1,941	642	県交付金の精算による返還金増等のため
合計	94,534	95,234	▲700	—

ポイント

被保険者数の減による保険給付費の減少などにより、総額で前年度比約7億円の減少。

【参考】収支状況

実質収支 2,482百万円（歳入総額 97,016百万円 － 歳出総額 94,534百万円）
 単年度収支 484百万円（R7実質収支2,482百万円 － R6実質収支1,998百万円）

政令市の状況（高齢化率・病院数・病床数）

高齢化率：令和8年1月現在

病院数・病床数：令和7年10月現在

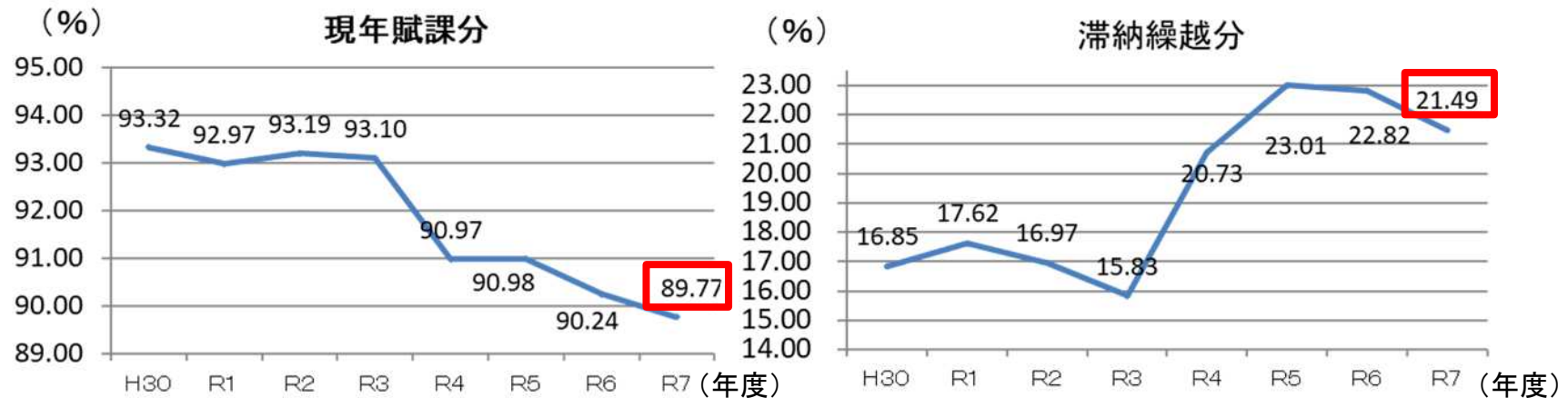
順位	高齢化率(%)	10万人当たりの 病院数	10万人当たりの 病床数
1	北九州市 31.6	熊本市 12.2	北九州市 2,003.1
2	静岡市 31.4	札幌市 10.0	熊本市 1,974.6
3	新潟市 30.9	北九州市 9.9	札幌市 1,829.4
⋮	⋮	⋮	⋮
18	さいたま市 23.4	横浜市 3.4	横浜市 733.2
19	福岡市 22.3	さいたま市 2.9	川崎市 679.4
20	川崎市 20.4	川崎市 2.4	さいたま市 590.0

※掲載の政令市は、各項目の上位、下位それぞれ3都市を抽出している。

ポイント

本市は他の政令市と比較して高齢化率が最も高く、人口当たりの病院数・病床数が多い

保険料収納率の推移



【保険料収納に対する取組み内容】

- ・ 文書催告、税金料金お知らせセンターからの電話催告
- ・ 差押えなどの滞納処分
- ・ 口座振替の推進
- ・ 資格の適正管理（資格重複加入者への脱退勧奨、居所不明調査など）
- ・ 納付環境の整備（ペイジー口座振替【H27年度～】、コンビニ収納【H28年度～】
クレジットカード・スマホ決済アプリによるキャッシュレス支払い【R2年度～】）

※各区役所国保年金課で行っていた滞納整理等に係る納付相談の業務は、
令和4年4月から財政・変革局の料金納付課へ移管

医療費適正化の取組み

- 特定健診、特定保健指導の実施

40歳以上の被保険者を対象にメタボリックシンドロームに着目した健診とその結果により、生活習慣病予防を目指した保健指導を行った。

特定健診受診率（暫定値） 令和6年度：34.1% 令和7年度：34.8%

- 後発医薬品（ジェネリック医薬品）利用促進

ジェネリック医薬品に切り替えた場合に効果が高いと見込まれる者に利用案内を送付するとともに「国保のてびき」に利用希望カードを掲載し、利用を促進した。

令和6年度実績：通知数 4,325件 ジェネリック普及率 88.8%

令和7年度実績：通知数 2,744件 ジェネリック普及率 89.6%

※令和6年10月からジェネリック医薬品の自己負担の新たな仕組みが開始

- 診療報酬明細書（レセプト）点検

診療報酬明細書について、過剰な診療や薬剤投与などの請求内容を区役所や会計年度任用職員（10名）でチェックした。

令和6年度実績：点検件数16,889件 点検効果額264,823千円

令和7年度実績：点検件数18,358件 点検効果額286,389千円

- 第三者行為求償

交通事故等の第三者行為に起因する保険給付に対し、専任の会計年度任用職員（３名）により、第三者に損害賠償を求めた。

令和６年度実績	：	求償件数	２，８７０件	求償効果額	８４，１１０千円
令和７年度実績	：	求償件数	２，３６８件	求償効果額	７９，４６４千円

- 重複・頻回受診世帯等への訪問指導

医療機関での重複受診者及び特定健診指導対象外の者（治療中）に対し、保健師（会計年度任用職員４名）が訪問し、本人及び家族に助言・指導を行った。

令和６年度実績	：	訪問	１，０４６件	指導	５００件
令和７年度実績	：	訪問	８３０件	指導	３６４件

- はり、きゅう施術補助

被保険者の健康の保持・増進のため、１回当たり１，５００円（はり又はきゅう）、１，６５０円（はり及びきゅう）を助成。

令和６年度実績	：	助成件数	５６，７９４件	助成金額	９２，１７５千円
令和７年度実績	：	助成件数	５６，５５０件	助成金額	９１，８７３千円

- 医療費通知

実際かかった医療費の確認や健康・医療への関心を高めるため、２ヵ月ごとに受診内容を通知。

通知実績 令和６年度：延べ６０８，８３８件 令和７年度：延べ５７９，７７０件